



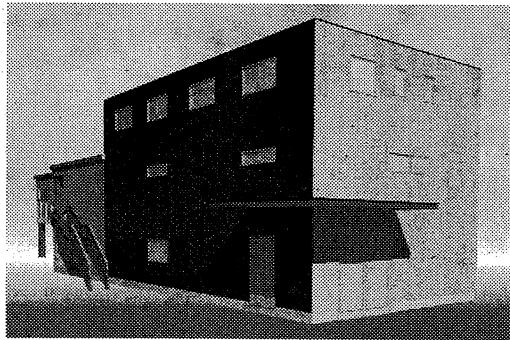
新工場が来月稼働

金属・樹脂 加工部品 生産性20%向上

住吉プレジジョン

【立川】住吉プレジジョン(東京都調布市、住吉智実社長、042・442・2577)は東京都府中市に新工場を建設し、2015年1月中にも稼働する。建屋投資額は約1億円。手狭となっていた現在の本社工場を移転・集約する。主力の金属、樹脂加工部品の生産性を従来比で約20%高め、業務効率化とコスト低減につなげる。将来の受注量増加や、装置メーカーが進む部品のユニット化に対応できるようにする。

現在の本社第一工場(東京都調布市)、第二工場を移転・集約する。新工場の建屋は約6800平方分の3階建て。1階は加工スペースとして既



存のマシニングセンター4台、旋盤4台、フライ

また、仕上げ・組み立てスペースを広くとるこ

本社工場の完成予想図

ス盤7台を移設し、2階は仕上げや組み立ての専用スペースを設ける。これまで点検していた加工、仕上げ・組み立てをそれぞれ1フロア体制にし、製造フローを改善する。

とで、近年ニーズが高まっている高品質仕上げや、ユニット部品の組み立てのためゆとりのあるスペースを確保する。住吉プレジジョンは大手理化学・計測器メーカー装置向けの試作・量産部品を手がける。自社保有の工場を設けることで生産性向上やコスト競争力を高める。